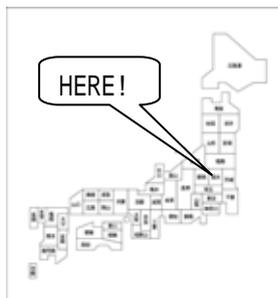


# ～伝統文化～ 方言を学ぼう！

方言は、人が生まれて最初に自ら覚えてしまう自然のことばで、日常生活に密着して育まれてきたものです。いわば、その地方の人と人を結びつける重要な伝統文化のひとつなのです。



## 栃木県方言の主な特徴

- ◇ アクセントによる単語の区別がない。栃木弁は、『無アクセントの方言』といわれ、意味は前後の会話などで読み取る。  
例えば「端が」「橋が」「箸が」は共通語では区別されるが、栃木弁は区別されない。
- ◇ 尻上がり調のイントネーションを多用する。
- ◇ 「イ」と「エ」の混合 エンピツ インピツ  
参考：ウィキペディア（フリー百科事典）



## 栃木県の方言について書かれた本

～ 1階 地域資料コーナーにあります ～

おもしろ方言あいうえお 嶋 均三 / 著 下野新聞社 【818 ヽ】
単に栃木弁を収集したものではなく、ユーモアを加えた例文があり、楽しく読める内容になっています。 50音順に方言の意味や活用方法などについて解説があり、「栃木弁」をより知ることができます。
ごじゃっぺこくでね～栃木弁大全集 まいぶれ那須 / 編 【818 ヽ】
インターネットサイト「まいぶれ那須」に掲載されている人気コーナー「栃木のおもしろ会話集」を本にしたものです。 「学校の巻」では、授業参観や下校途中、運動会等での会話のやりとりが紹介され、「よく使っている言葉だけど方言だったの?！」と気づかされるエピソードがいっぱいです。
おづる <sup>ば</sup> 婆 <sup>つ</sup> っば 方言で綴る600字の物語 もんぺと地下たび 嶋 均三 / 著 下野新聞社 【914.6 ヽ】
著者とばあちゃん（おづる <sup>ば</sup> 婆 <sup>つ</sup> っば）とのふれあいを描いた本です。おづる <sup>ば</sup> 婆 <sup>つ</sup> っばが使っていた言葉と一緒に暮らしていた山里での生活をそのまま物語にしており、笑いと同時にぬくもりが伝わってきます。



## もっと方言について知りたい人には・・・

～ 2階 青少年コーナーにあります ～

日本語でなまらナイト しのざき教授のなまらやさしい方言講座 柳川 圭子 / 著 しのざきこういち / 監修 小学館 【818 ヲ】	出身地(イナカ)がわかる！気づかない方言 篠崎 晃一 / 著 毎日新聞社 / 著 毎日新聞社 【818 ヽ】
「あの SMAP の中居くんが実は!？」、「明石家さんまさんは大阪弁じゃないってホント?」・・・など、日常生活の身近な場面で方言に出会った際の疑問に答える形式で書かれており、気楽に読める内容です。	実際に使われることが多い「気づかない方言」はどういう言葉か、どの程度出身地が推測できるかなどについて書かれています。 これから進学や就職等で上京したい人は「気づかない方言」について知ってみるのもよいかもしれませんよ!!
私の好きなお国ことば 小学館辞典編集部 / 編 小学館 【818 ヲ】	方言は気持ちを伝える シリーズ名:岩波ジュニア新書 真田 信治 / 著 岩波書店 【S818 ヲ】
芸能人・著名人が自分の育った土地の思い出や大好きな言葉などを取り上げ、その言葉をめぐるエピソードや思いをつづった1冊です。自分が生まれ育ったふるさとの言葉に対する深い愛情が感じられます。	かつて方言は古臭くダサイものとされていましたが、今や若者の間でコミュニケーションの手段として、新鮮なカッコいいものとして受けとめられています。 方言は、ほっとする流れを作ることができる「癒し <sup>いやし</sup> 」の効果をもっているのです。

【 】内は、請求番号（本の背ラベルの記号）です。